

# 副産物情勢

令和元年11月5日

更新

JA全農ミートフーズ株式会社

項目	内容	備考																									
1.内臓	①国産牛	<p>○令和元年9月成牛と畜頭数は、83.7千頭(前年比102.7%)となった。 内訳を見ると、和牛35.6千頭(前年比105.0%)、交雑牛19.0千頭(同 98.4%)、乳牛去勢13.6千頭(同 94.3%)であった。 ○令和元年10月の成牛と畜頭数は、速報値(10/31まで集計)で87.3千頭(前年比94.5%)と前年を下回った。 ○(独)農畜産業振興機構が10月29日に公表した牛肉の需給予測によると、11月の生産量は全ての品種で出荷頭数の減少が見込まれることから、前年同月をやや下回ると予測する。 3ヶ月平均(9~11月)では、出荷頭数は前年同期をわずかに下回る一方、生産量は前年同期並みと予測している。 ○需要動向については、タン・ハラミ・サガリ等の赤モノは依然不足気味である。レバーの動きは鈍い。 シロモノは直腸の動きは良い。小腸は冬場に向けて動きが始まってきた。しかし、大腸は動きの鈍い状況である。</p>	<p>1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年7月6日</td> <td>30/枝kg</td> <td>8/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年11月19日</td> <td>30/枝kg</td> <td>7/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年6月9日</td> <td>30/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年11月10日</td> <td>35/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成28年6月6日</td> <td>40/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成31年4月1日</td> <td>45/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ただし乳牛は42円/kg *豚正貫物</p>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	平成24年7月6日	30/枝kg	8/枝kg	平成24年11月19日	30/枝kg	7/枝kg	平成26年6月9日	30/枝kg	9/枝kg	平成26年11月10日	35/枝kg	9/枝kg	平成28年6月6日	40/枝kg	9/枝kg	平成31年4月1日	45/枝kg	9/枝kg			
	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																								
	平成24年7月6日	30/枝kg	8/枝kg																								
平成24年11月19日	30/枝kg	7/枝kg																									
平成26年6月9日	30/枝kg	9/枝kg																									
平成26年11月10日	35/枝kg	9/枝kg																									
平成28年6月6日	40/枝kg	9/枝kg																									
平成31年4月1日	45/枝kg	9/枝kg																									
②国産豚	<p>○令和元年9月度全国の肉豚出荷頭数は1,287千頭(農林水産統計10/31公表 前年同月比102.0%、前月比102.2%)となった。 9月の全国地域別出荷頭数を前年同月比で見ると、北海道109.3%、東北102.9%、関東101.6%、北陸甲信越99.0%、東海82.2%、近畿94.8%、中四国115.9%、九州・沖縄102.5%となった。 ○令和元年10月の全国と畜頭数は、速報値で1,422千頭(10/31まで集計)、前年同月比94.7%となっている。稼働日数では昨年より1日少ない21日となり、1日当たりの平均と畜頭数は速報値段階で67,714頭となっている。(前年は68,221頭/日) ○農水省食肉鶏卵課令和元年10月2日付 肉豚生産出荷予測によると、今後の出荷予測頭数は令和元年11月1,416千頭(前年同月比95%)、12月1,464千頭(同101%)、令和2年1月1,361千頭(同96%)、2月1,321千頭(同101%)、3月1,385千頭(同103%)となっている。 ○需要動向について、アカモノ全体で動きは悪くないが落ち着いた状況である。、レバーは市中在庫が増加している。 シロモノは、小腸は需要期に入り動きが出てきた、大腸も若干引き合い出始めたが、市中在庫は多いと思われる。 豚足は荷余り感あり。</p>	<p>2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成20年5月1日</td> <td>50/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成23年6月20日</td> <td>40/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年7月13日</td> <td>30/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年11月10日</td> <td>35/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成28年5月30日</td> <td>40/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成31年4月1日</td> <td>45/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>*H23.4.1から枝重500kg以上が510kg未満に改定</p>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	平成20年5月1日	50/枝kg	5/枝kg	平成23年6月20日	40/枝kg	5/枝kg	平成24年7月13日	30/枝kg	5/枝kg	平成26年11月10日	35/枝kg	5/枝kg	平成28年5月30日	40/枝kg	5/枝kg	平成31年4月1日	45/枝kg	5/枝kg				
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																									
平成20年5月1日	50/枝kg	5/枝kg																									
平成23年6月20日	40/枝kg	5/枝kg																									
平成24年7月13日	30/枝kg	5/枝kg																									
平成26年11月10日	35/枝kg	5/枝kg																									
平成28年5月30日	40/枝kg	5/枝kg																									
平成31年4月1日	45/枝kg	5/枝kg																									
③輸入牛	<p>○令和元年9月の輸入通関実績によると牛肉輸入量は全体で50.5千ト(前年比96.7%、前月比94.4%)となった。 内訳は、チルドが21.5千ト(前年比103.4%、前月比82.3%)、フローズンが29.0千ト(同 92.2%、同 106.0%)となった。 チルドは前年を上回ったが、それでも末端消費の落ち込みを反映して、6月以来の低い水準となった。 ○10月29日に公表した牛肉の需給予測によると、チルドビーフ輸入量は、前年の輸入量が台風21号による通関遅延の反動等により多かったことに加え、輸入業者の買い付け時の国内需要が低調だったことなどから、10月・11月とも前年同月を下回ると予測している。 ○令和元年9月の冷凍輸入牛レバーは74.6ト(前年比158.7%・前月比86.3%)で、国別では米国66.7t、豪州8.0t、墨国0tであった。 冷凍輸入牛腸は1,253.5ト(前年比146.7%・前月比105.5%)となった。今年暦計(1~9月計)で数量は前年比101.3%である。</p>	<p>3.東京市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和牛)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年4月1日</td> <td>2,000/枚</td> <td>150/枚</td> </tr> <tr> <td>平成29年1月23日/16日</td> <td>1,500/枚</td> <td>180/枚</td> </tr> <tr> <td>平成30年5月14日</td> <td>1,500/枚</td> <td>150/枚</td> </tr> <tr> <td>平成30年9月25日</td> <td>1,500/枚</td> <td>100/枚</td> </tr> <tr> <td>平成30年11月1日</td> <td>1,000/枚</td> <td>100/枚</td> </tr> <tr> <td>平成31年1月5日</td> <td>1,000/枚</td> <td>30/枚</td> </tr> <tr> <td>令和元年7月22日</td> <td>700/枚</td> <td>10/枚</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	平成28年4月1日	2,000/枚	150/枚	平成29年1月23日/16日	1,500/枚	180/枚	平成30年5月14日	1,500/枚	150/枚	平成30年9月25日	1,500/枚	100/枚	平成30年11月1日	1,000/枚	100/枚	平成31年1月5日	1,000/枚	30/枚	令和元年7月22日	700/枚	10/枚	
価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																									
平成28年4月1日	2,000/枚	150/枚																									
平成29年1月23日/16日	1,500/枚	180/枚																									
平成30年5月14日	1,500/枚	150/枚																									
平成30年9月25日	1,500/枚	100/枚																									
平成30年11月1日	1,000/枚	100/枚																									
平成31年1月5日	1,000/枚	30/枚																									
令和元年7月22日	700/枚	10/枚																									
2.原皮	①牛原皮	<p>○令和元年9月の輸出実績は、24,583枚(前年比96.6%、前月比96.6%)で、前年・前月とも下回った。輸出平均価格は2,173円/枚(前年比-1,458円、前月比-240円)と前年・前月より下回った。 国別実績は、韓国6,112枚(前年比202.0%)、タイ15,111枚(同160.4%)、ベトナム3,360枚(前年なし)、香港、台湾、インドは実績なし。一方、ウエットブルーの輸入は、20.1千枚(前年比39.1%、前月比115.2%)、牛大判皮は46.7千枚(前年比172.0%、前月比98.1%)となった。 ○価格は下落が一息ついているものの、徐々に下降気味である。 ○米国の牛生産数の上昇、米中貿易戦争等様々な要因で回復が見通せない状況である。</p>	<p>4.大阪市場原皮価格 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和ヌキ)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年1月23日/16日</td> <td>1,800/枚</td> <td>140/枚</td> </tr> <tr> <td>平成30年5月28日</td> <td>1,800/枚</td> <td>110/枚</td> </tr> <tr> <td>平成30年10月9日</td> <td>1,800/枚</td> <td>60/枚</td> </tr> <tr> <td>平成30年11月1日</td> <td>1,300/枚</td> <td>60/枚</td> </tr> <tr> <td>平成31年1月28日</td> <td>1,300/枚</td> <td>30/枚</td> </tr> <tr> <td>令和元年7月16日</td> <td>1,000/枚</td> <td>30/枚</td> </tr> <tr> <td>令和元年8月15日</td> <td>1,000/枚</td> <td>10/枚</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮	平成29年1月23日/16日	1,800/枚	140/枚	平成30年5月28日	1,800/枚	110/枚	平成30年10月9日	1,800/枚	60/枚	平成30年11月1日	1,300/枚	60/枚	平成31年1月28日	1,300/枚	30/枚	令和元年7月16日	1,000/枚	30/枚	令和元年8月15日	1,000/枚	10/枚
	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮																								
平成29年1月23日/16日	1,800/枚	140/枚																									
平成30年5月28日	1,800/枚	110/枚																									
平成30年10月9日	1,800/枚	60/枚																									
平成30年11月1日	1,300/枚	60/枚																									
平成31年1月28日	1,300/枚	30/枚																									
令和元年7月16日	1,000/枚	30/枚																									
令和元年8月15日	1,000/枚	10/枚																									
②豚原皮	<p>○令和元年9月の輸出合計は、920,350枚(前年比137.6%、前月比81.8%)と、前年は上回ったが前月は下回った。輸出価格は281円/枚で前年比-113円、前月比+7円となった。 国別実績は、タイ718千枚(同147.0%)、韓国39千枚(同541.7%)、カンボジア99千枚(同1368%)、ベトナム65千枚(前年なし)、台湾・フィリピン・香港・ミャンマーとも実績なし。 ○輸出動向については、下げ基調であった価格も底を打って、反転し上げ基調である。 10月以降も、輸出価格が上向いていくことに期待する。 国内での豚コレラ発生でタイ向け輸出がOIE基準となった。輸出数量への影響が懸念材料である。</p>																										
3.レンダリング	①油脂等	<p>○10月渡しの国内産食用加工油脂向け豚脂は前月・前年とも同様の95円(前年比100.0%)であり、牛脂は前月から保合、前年では-5円下げの85円(同94.4%)となった。豚脂は需要増のため需給はタイトである。牛脂は、外食の販売量盛り返しにより、好転に向かっているようである。 アフリカ豚コレラの猛威により、世界的に豚脂が逼迫してきている。 ○9月マレーシア産パーム油相場は、前半に輸出需要が好調であったが、後半は輸出量が一転して低迷したため、全体としては、保合となった。8月の価格は、前月より3円上げて78円となった。(前月比104.0%、前年比92.9%) ○10月の関東飼料用油脂は74円/kgと前月・前年とも同様であった。工業用油脂は45円/kgと前月・前年とも同様であった。 ○10月のUCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格は、前月・前年と同様の63円~66円/kg辺り。</p>	<p>5.油脂価格(食用向け) 単位:円/kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛脂</th> <th>豚脂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年8月1日</td> <td>93</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>平成28年6月1日</td> <td>93</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>平成29年11月1日</td> <td>90</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>平成30年4月1日</td> <td>90</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>平成31年3月11日</td> <td>85</td> <td>95</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛脂	豚脂	平成27年8月1日	93	93	平成28年6月1日	93	88	平成29年11月1日	90	90	平成30年4月1日	90	95	平成31年3月11日	85	95						
価格改定年月日	牛脂	豚脂																									
平成27年8月1日	93	93																									
平成28年6月1日	93	88																									
平成29年11月1日	90	90																									
平成30年4月1日	90	95																									
平成31年3月11日	85	95																									